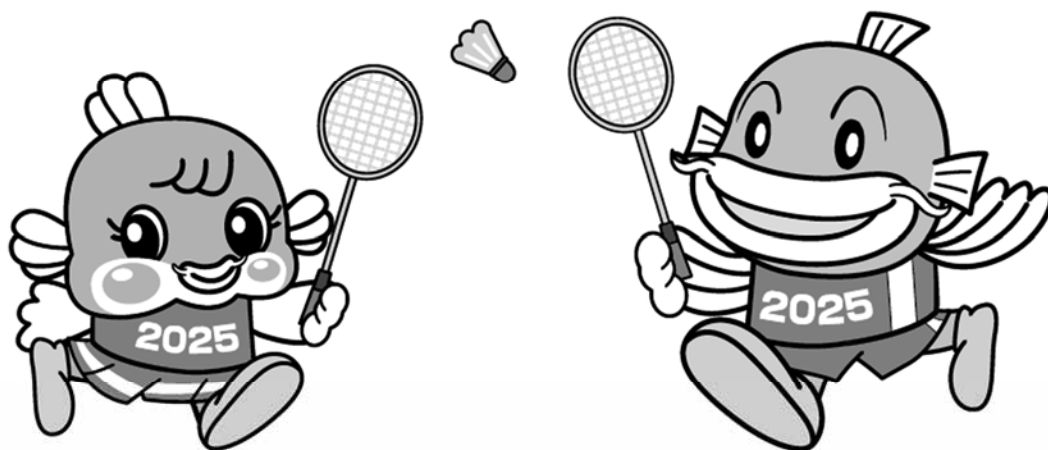


SOバドミントン

プロシードアリーナHIKONE

^{ひこねし}
(彦根市スポーツ・文化交流センター)

^{きょうぎ} ^び
競技日: ^{がつ}10月 ^{にち}18日(土) ~ ^{にち}19日(日)



第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」オープン競技 SOバドミントン競技 開催要項

- 1開催日** 2025(令和7)年10月18日(土)～19日(日)2日間
競技前日10月17日(金):会場設営、SO香港交流行事(合同練習、懇親会、前夜祭)
- 2主催** 特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・滋賀
- 3協力** 滋賀県バドミントン協会 彦根市バドミントン協会 滋賀県体操協会
彦根ロータリークラブ 彦根ライオンズクラブ コカ・コーラボトラーズジャパン
滋賀県自閉症協会 バリアスバリューズ実行委員会 NPO法人ふれあいワークス
- 4後援** 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
彦根市 滋賀県社会福祉協議会 彦根市社会福祉協議会
- 5開催会場** プロシードアリーナHIKONE(彦根市スポーツ・文化交流センター)
住所:彦根市小泉町640番 JR南彦根駅下車 徒歩5分 TEL:0749-30-9228
- 6開催期間**

10/17(金)予定時間	内容(会場設営、SO香港交流行事)	備考
12:30～13:30	スタッフ集合、会場設営	
13:30～14:00	ウォーミングアップ(協力:滋賀県体操協会)	メインアリーナ
14:00～16:00	バドミントン合同練習(協力:彦根市バドミントン協会)	メインアリーナ
17:00～18:30	懇親食事会	2階多目的会議室
19:00～20:30	前夜祭ステージ	多目的ホール

(初日)10/18(土)予定時間	内容(開会式、予選、付帯イベント)	備考
8:40～9:00	(付帯イベント) トーナメント戦・開始式	メインアリーナ
9:00～10:00	(付帯イベント) トーナメント戦・予選リーグ	メインアリーナ
10:10～11:20	(付帯イベント) トーナメント戦・準々決勝、準決勝、決勝	メインアリーナ
11:35～11:55	(付帯イベント) 表彰式・終了式	メインアリーナ
12:00～12:10	SO選手団受付	多目的ホール
12:10～12:30	選手団団長、ヘッドコーチミーティング	多目的会議室
12:40～13:40	開会式	多目的ホール
13:40～14:10	ウォーミングアップ	メインアリーナ
14:10～16:05	予選(シングルス5分ゲーム、個人技能競技～15:50)	メインアリーナ
16:15～17:25	(付帯イベント) ユニファイド ダブルス	メインアリーナ
17:25～17:35	ヘッドコーチミーティング	本部席前

(2日目)10/19(日)予定時間	内容(決勝、付帯イベント、表彰式・閉会式)	備考
8:40～11:40	決勝 シングルス×8ゲーム/コート, 個人技能競技	メインアリーナ
(付帯イベント)	体験教室、スタンプラリー(eスポーツ、ホッチャ、展示他)	サブアリーナ、多目的ホール等
11:40～12:40	昼食・休憩	
12:40～14:00	決勝 シングルス×4ゲーム/コート, 個人技能競技	メインアリーナ
(付帯イベント)	体験教室、スタンプラリー(eスポーツ、ホッチャ、展示他)	サブアリーナ、多目的ホール等
14:20～15:30	表彰式・閉会式	多目的ホール

- 7 競技種目** (1)個人技能競技<男女混合>
- ①ハンドフィーディング
 - ②ラケットフィーディング(オーバーヘッドストローク用)
 - ③“Ups”-アップスコンテスト
 - ④フォアハンドストローク
 - ⑤バックハンドストローク
 - ⑥サービス
- (2)シングルス(男子・女子)

(3)付帯イベント・ダブルス(ユニファイドスポーツ)

(4)付帯イベント・シングルス トーナメント戦(男子・女子)

※付帯イベント・シングルスについては、スペシャルオリンピックス各地区に未登録者も参加可能。

参加者枠を超えるエントリーがあった場合は、主催者が抽選等により決定。

エントリー少ない場合は中止の場合有。詳細は後報。

8 参加資格

アスリート

①スペシャルオリンピックス日本の地区組織にアスリートとして登録し、競技開催日現在8歳以上であること。

②2024年1月1日からエントリー期限内にスペシャルオリンピックス日本の地区組織が提供しているスポーツトレーニングプログラムに参加した経験がある者。

③大会参加にふさわしい身体状況にあること。

コーチ

①各地区組織に認定コーチとして登録していること。

(注)ヘッドコーチはバドミントンの認定コーチであること。

②原則としてアスリート4名に対してコーチ1名とする。

団長・副団長

①選手団は、団長と副団長を派遣することができる。

②スペシャルオリンピックス日本の地区組織に登録していること。

③スペシャルオリンピックス日本の提供する「ゼネラルオリエンテーション」および「アスリート理解」を受講していること。

追加スタッフ

①スペシャルオリンピックス日本の地区組織に登録していること。

②スペシャルオリンピックス日本の提供する「ゼネラルオリエンテーション」および「アスリート理解」を受講していること。

③追加できるスタッフの数は各地区組織の必要数とする。

9 競技規則

本大会は公式スペシャルオリンピックススポーツルール総則(最新版)及びバドミントン(最新版)に則って行う。但し、本規則に矛盾しない限り、公益財団法人日本バドミントン協会競技規則(最新版)を採用する。本大会でローカルルールを定めた場合はそれが優先される。

10 参加費

アスリート・コーチ・団長・副団長・追加スタッフ 1人あたり 1,000円
(個人・地区負担金、保険料、10/19昼食時弁当飲料含む)

11 参加申込

2025年8月31日(日)エントリー締切

12 エントリー

①参加種目については、個人技能競技、シングルのいずれかとする。

②個人技能競技については6種目全てにエントリーする。

③エントリー時には個人技能競技全種目のスコアを提出する。シングルス出場者は、新評価のスコア提出を推奨する。どちらかのスコアを提出すること。

ディビジョニング及びスペシャルオリンピックス精神の遵守

アスリートとコーチは、スペシャルオリンピックス スポーツルール第I章総則(2022年10月改訂版)「10.スペシャルオリンピックスのディビジョニング」をよく理解しておくこと。

13 競技方法

シャトルは、公益財団法人日本バドミントン協会検定合格水鳥球を使用する。
試合開始時はコインを使ってトスを行う。(※できない場合はじゃんけんも可)

シングルス(男子、女子)

エントリー時に提出されたスコアと評価を基にしたディビジョニングを行う。

①予選リーグ:5分ゲーム エンドの交替はしない。

②決勝リーグ:21点の1ゲームマッチ、11点に達したときにエンドを交替。

29点オールになった場合は、30点目を得点したサイドがゲーム勝者。
※エントリー数により、15点の1ゲームマッチになる場合有り。

個人技能競技

6種目①ハンドフィーディング②ラケットフィーディング(オーバーヘッドストローク用)③アップスコネクト
④フォアハンドストローク⑤バックハンドストローク⑥サービス

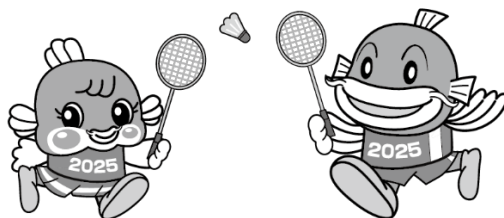
予選(6種目を1回計測)

決勝(6種目を2回計測し、合計得点の平均点を最終得点とする。)

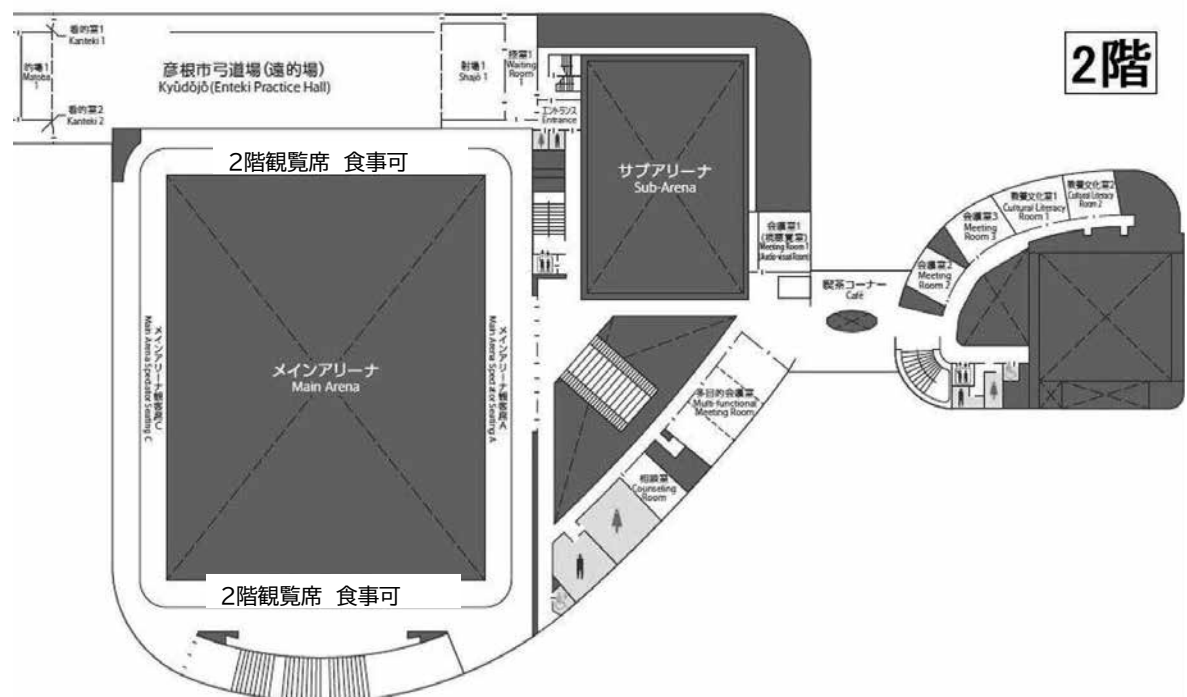
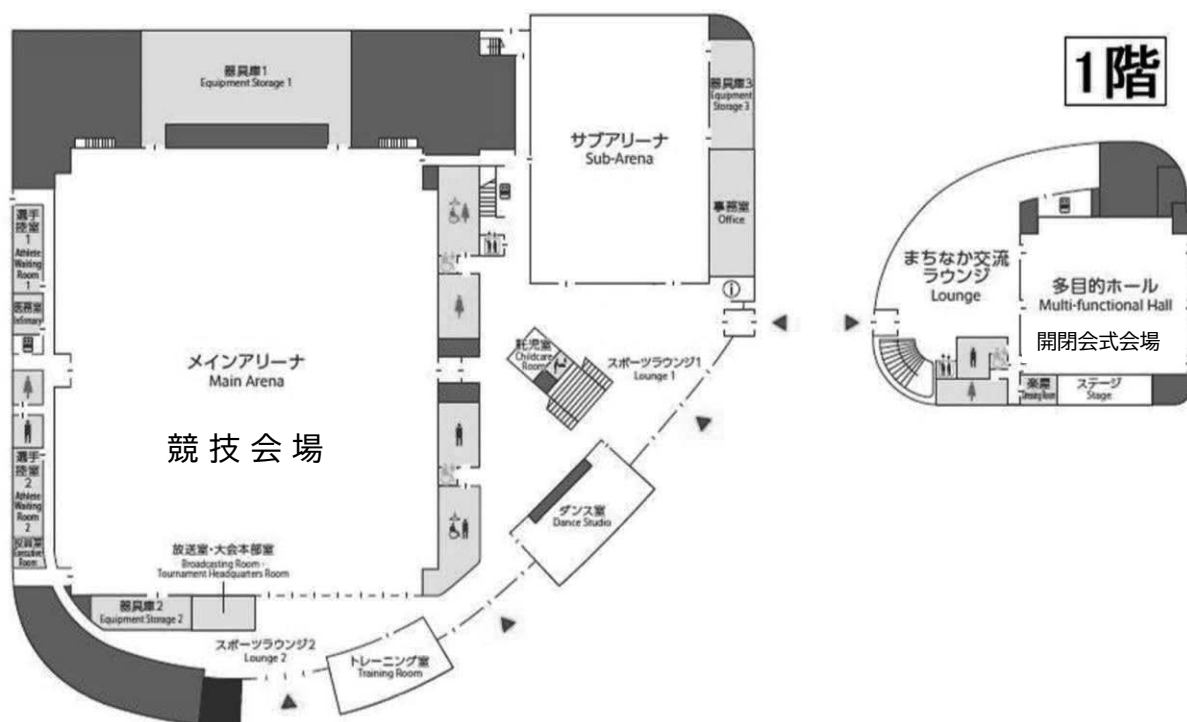
※ユニファイドダブルス(レクリエーション)を予定。

- 14 服装** 公益財団法人日本バドミントン協会又はSONバドミントン部会の規定によるウェアを着用する。
配布されたゼッケンを背中に付ける。ただし、地区名、氏名がプリントされている場合は、
ゼッケン不要。
- 15 抗議** 抗議の手続は、リザルト掲示後15分以内にコーチが競技委員会(SONバドミントン部会)に
対して所定のフォームで提出することとする。
- 16 その他** 開催要項に定められていない競技運営に関わる事項は、その都度、競技委員会(SONバドミ
ントン部会)が決定する。
競技中はアスリート、パートナー、コーチ、追加スタッフ、競技役員、大会関係者、許可を得
た報道関係者以外の競技エリアへの立ち入りを禁止する。

以上



プロシードアリーナHIKONE 競技会場図



【スペシャルオリンピックスについて】

知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織、それがスペシャルオリンピックスです。

スペシャルオリンピックスの名称が複数形で表されているのは大会に限らず日常的なスポーツトレーニングから世界大会まで様々な活動が年間を通じて世界中でおこなわれていることを意味しています。

現在、世界190カ国以上で、約550万人のアスリートと100万人以上のボランティアが参加しています。私たちの活動は非営利活動であり、運営は「ボランティアと善意の寄付」によっておこなわれています。

また、スペシャルオリンピックスでは、これらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちを“アスリート”と呼んでいます。

【Our Mission】

知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能、友情を分かち合う機会を継続的に提供します。

【Our Vision】

“Be with all”

「多様な人々が活きる社会の実現を目指す」

スペシャルオリンピックス日本は、知的障害のある人々とのスポーツを通した様々なユニファイド活動により、多くの気づきと行動を生み出します。

ユニファイド活動とは、知的障害のある人(アスリート)と知的障害のない人(パートナー)がスポーツ、教育、健康、コミュニティ形成に関する多くのプログラムを通じてお互いに相手の個性を理解し合い支え合う関係を築いていく取り組みです。

ユニファイドスポーツとは、スポーツを通じたユニファイド活動です。アスリートとパートナーが混合チーム(ペア)を作り、練習や試合を行います。スペシャルオリンピックス国際本部が推進しているプログラムの1つで、世界大会公式種目としても実施されています。障害の有無を超え、スポーツを通じて喜びや悔しさ、達成感など様々な経験を共有することにより、お互いの理解を深め、友情を育むことを目指しており、インクルーシブ社会の実現を促進することを目標としています。

スペシャルオリンピックス日本では、1人でも多くの人たちに活動へ参加していただくことで、スポーツを通じて、知的障害のある人々の可能性を広げ、よりインクルーシブな社会を目指します。



知的障がいのある人にスポーツを